

地域づくり

(主体横断的な基本的方向)  
基本的方向9 各主体の共働・連携を促進する

基本的方向1～5で各主体の主体的な取組みを支援・促進するとともに、主体を横断する取組みを基本的方向6～8で展開し、それらを踏まえ、各主体の共働・連携をさらに推進します。また、主体同士の情報交換の場を充実することで、地域や相互の課題解決が図られるしくみを検討します。

目的・取組み・具体例

◆主体間の共働・連携が促進・強化される。

➡あらゆる主体が参加できる活動・交流の場や機会の提供



ラブアース・クリーンアップの様子

・環境フェスティバルふくおか

：市民団体・事業者・行政が一堂に集い、情報交換・相互交流を行って、参加体験型のイベントを開催【環境局】

・ラブアース・クリーンアップ事業

：市民・事業者・行政などが参加する一斉清掃【環境局】 など

➡共働・連携の拠点となる施設などの活用促進や多様な主体との共働・連携を取り入れた施設運営

めざすこと

保健環境学習室である「まもるーむ福岡」は健康と環境の安全・安心の確保および生物多様性の保全を対象とし、情報発信と交流活動拠点の機能を備える施設として再構築に取り組んでいます。保健環境研究所や関係機関、大学、NPOの関連情報を集約、整理し、様々な媒体で発信するとともに、NPOと連携した自然観察会、事業者と共働での工場見学等のフィールド学習、学校クラブの発表会、大学やNPOと連携した公開講座など、多様な主体と共働・連携による企画の実施も検討しています。



➡共働・連携の在り方についての具体的事例の紹介

・福岡市環境行動賞

：市の環境保全・創造に貢献した個人・市民団体・学校・事業者を表彰し、模範的な活動を広く市民に発信【環境局】

◆多様な主体の参画と共働・連携により、地域や相互の課題解決が図られる。

➔多様な主体が参加し対話・交流する機会の創出

・生物多様性を考えるトーク・カフェ

：生物多様性に関連した各主体が対話する場、新たな人材との交流の場としてのトーク・カフェを開催【環境局】

・エコ発する事業

：市民団体などが自ら発意・企画し、主体的に行う環境活動を支援。活動報告会では各団体が取組みを発表するとともに、ワールドカフェ形式により団体同士の交流を深めるなど、分野や世代を超えた団体間の共働・連携の機会を提供【環境局】

めざすこと

様々な分野において、各主体が交流しながら環境について共に考える機会をつくるとともに、最新の環境の現状や動向を学ぶ基調講演をあわせて実施したり、リーダーの育成にもつなげるなど、交流の場がますます充実したものとなるよう検討していきます。

また、青少年育成など地域の抱える他の課題について、環境という切り口から解決していくような共働・連携の取組みについても促進していきます。



平成26年度に実施した、生物多様性を考える「生きものと私たちのくらしトーク・カフェ」の様子

